

油圧爪つきジャッキは世界のスタンダード 他社と連携しデジタル化や技能伝承を推進

油圧機器事業、板金加工事業、エンジニアリング&サービス事業、福祉機器事業を主な柱とし、多様な分野のお客様に少量・多品種・短納期のカスタムメイド型ものづくりサービスを提供。特に、油圧機器事業は売上高の約8割を占め、油圧爪つきジャッキは、重量機器移設、鉄道保線、土木工事に加え防災・レスキューツールとして、世界のスタンダードとなっている。近年は、ITの活用により「東京町工場ものづくりのワ」の企業が連携し、業務効率化や技能の伝承を推進する。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 東京都足立区扇1-22-4 | ● 設立 | 1961年 |
| ● 電話/FAX | 03-3890-3406/03-3856-1740 | ● 資本金 | 3,020万円 |
| ● URL | http://www.konno-s.co.jp/index.html | ● 従業員数 | 36人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 今野 浩好 | | |



小ロット製品の製作や同業他社との連携で付加価値を向上

エンジニアリング&サービス事業では、理化学、工学、海洋開発、農業、福祉等、多様な分野の研究開発において、専用の器具・治具を個別に製作しているが、構想段階での相談から納入後の修理まで幅広く対応することで付加価値を向上させている。また、板金加工事業では、「東京町工場ものづくりのワ」を形成して情報を共有。各社は同業であるが異分野の製品を扱うため、各社の強みや得意分野を生かし、これまで自社のみではできなかった案件を受注できるようになり、商圏の拡大を図っている。



構想～製造まで一貫して行う受注生産品

設計ノウハウ見える化、連携企業との情報共有で業務を効率化

手間のかかる仕事において、品質を維持しながら効率化を図るため、3次元データを活用して設計ノウハウの見える化に取り組む。また、営業と設計とで情報共有が行えるシステムを導入し、特注案件の受注につなげている。

更に、ITの活用により、「東京町工場ものづくりのワ」の企業同士を結び付け、実務上のあらゆる情報をタイムリーに共有することで、複数の会社をひとつの事業体のように機能させる試みを行い、業務の効率化を図っている。



3次元データを活用した設計

生産技術のデジタル化と企業間での共有による技能伝承の促進

「東京町工場ものづくりのワ」の参加企業が、各社のコア技術について生産技術のデジタル化を行い、これを各社で共有することで技能伝承を促進している。具体的には、熟練工の匠の技を複数の視点から分析した上で、統一基準を設定してデジタル文書化や映像化を行い、経験の少ない若手人材でも熟練工と同様のスキルを早期に習熟するための人手不足対策の取組に力を注いでいる。



「東京町工場ものづくりのワ」打合せ風景